

ヒメビシ

Trapa incisa Sieb. et Zucc.

ヒシ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地の環境が人為による影響を受けやすい。県内では個体数も少ない。(現況:RO)

形態

浮葉植物。浮水葉は広卵状菱形で径1~2cm。葉身が小形なので鋸歯が粗く見える。表面に光沢があり、裏面脈上にはわずかに毛があるかまたはほとんど無い。花は白~薄桃色で花弁は4弁。径6~8mm。果実はやや扁平な倒三角形で4刺針があり、全幅約20mmで、ヒシやオニビシに比べてかなり小さい。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

外浦区、内浦区、中能登区、口能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

一年生。花期は7~9月。果実は成熟すると株から離脱し、流失した後、水底に沈んで越冬し、翌春発芽する。発芽の時には、ひげ状の子葉を1本出し、一方の子葉は果実の中で養分を吸収する。ヒシやオニビシが水域の富栄養化などで増加傾向にあるのに対し、本種はあまり変化は見当たらない。

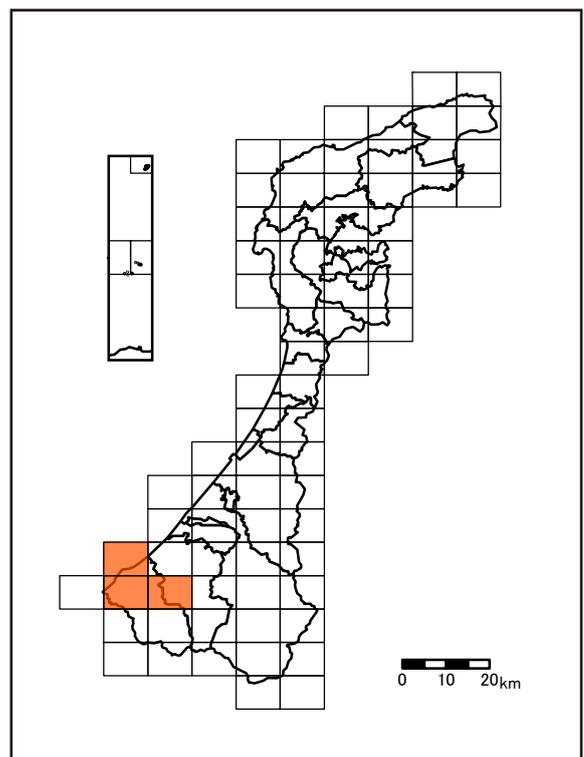
生育環境

池沼。

危険要因

池沼開発、水質汚濁、自然遷移、その他(養魚の邪魔になるので時々刈り取られる)。

写真(図)はありません。



県内の分布